

令和 3年度予算見積調書

課室名：薬務課

担当名：総務・温泉・薬事相談担当

内線：3624

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B116	薬局のかかりつけ機能強化推進事業			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			宣言項目		SDGsゴール	3
					分野施策	010204 生涯を通じた健康の確保		SDGsターゲット	3-8
1 事業の概要			5 事業説明						
<p>平成27年10月に策定された「患者のための薬局ビジョン」の実現を目指し、地域包括ケアシステムを支える機関の一つである薬局のかかりつけ機能の強化を図る必要がある。</p> <p>そこで、認知症対応薬局の推進、ポリファーマシー（多剤併用に伴う薬物有害事象）対策の推進及び在宅医療の推進に関する事業を実施する。</p> <p>(1) 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 1,200千円</p>			<p>(1) 事業内容 薬局のかかりつけ機能強化推進事業 1,200千円</p> <p>ア 認知症対応薬局の推進 かかりつけ薬剤師は認知症の疑いのある人に早期に気づき、受診を勧めたり、かかりつけ医などと連携して早期に対応できることが求められている。そこで、薬剤師認知症対応力向上研修会を開催する。</p> <p>イ ポリファーマシー対策の推進 複数の疾患を抱え多剤を処方される高齢者はそれに伴う薬物有害事象を生じることが多いため、薬剤師が他職種と連携してポリファーマシー対策事業を実施する。</p> <p>ウ 在宅医療の推進 在宅医療の推進には多職種連携が重要であり、薬剤師には在宅患者訪問薬剤管理指導や緩和ケアへの対応などが求められている。これまでも在宅患者の受入体制整備を進めてきたが、さらに強化するための研修を実施する。</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 認知症対応薬局の推進 薬剤師認知症対応力向上研修会をWEBで2回実施する。（うち1回は地域包括ケア課が主催）</p> <p>イ ポリファーマシー対策の推進 平成30年度及び令和元年度に実施したモデル事業を踏まえ、保険者（市町村国保）や医師会と連携し、保険者努力支援制度を活用してポリファーマシー対策事業を実施する。</p> <p>ウ 在宅医療の推進 在宅医療推進のための研修会を開催する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア かかりつけ医や他職種との連携体制整備によるかかりつけ薬剤師・薬局の機能の強化</p> <p>イ 患者本位の有効かつ安全な薬物療法の確保</p> <p>(4) その他 令和元年12月に医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律の一部が改正され、かかりつけ機能を有する薬局である地域連携薬局の認定制度が新たに創設された。（令和3年8月施行予定） 薬局のかかりつけ機能を強化し、地域連携薬局の定着を図る必要があることから、事業の終期は設定できない。</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.4人=13,300千円									
予算額		財源内訳						一般財源	前年との対比
決定額	1,200	国庫支出金						1,200	△1,800
前年額	3,000	3,000						0	